

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 2017府労組連 夏季闘争

# すべての労働者の賃上げで大阪の景気回復を

### 府当局 評価・育成システム「職員アンケートを実施」との回答を示す

6月15日、府労組連(大阪府関連労働組合連合会)は、夏季要求の実現をめざして人事局長との団体交渉を行いました。事務折衝等を経て夕刻に行われた交渉で、総務部長は府労組連に対する最終回答を行いました。

#### 切実な要求とは大きな隔たり

今季の団体交渉では、長時間労働解消に向けて、厚労省が今年1月に策定した「労働時間の適正な把握のために使

用者が講ずべき措置に関するガイドライン」を踏まえて適切に対応する」との回答が示されました。また、教職員の評価・育成システムに関して、平成29年度はシステムに関する職員アンケートを実施し、回答された意見も参考に、より良い制度になるよう取り組むなど、一部前向きな回答も示されました。

一層強化するとの見解を示しました。厚労省の統計では、昨年度、6年ぶりに実質賃金がプラスに転じましたが、大阪府の職員・教職員の賃金は3年連続で引き下げられています。大阪から人が逃げる「事態を解消し、大阪の景気を回復させるためにも、すべての労働者の賃上げや、最低賃金の引き上げが不可欠な状況は変わりません。さらに、行政職2級3級の最高号給滞留の解消、非正規職員の待遇改善、「教育に穴のあく」事態の解消、教職員の評価・育成システム」の中止、ハラスメント防止のための実効ある対策などの要求も切実です。大障教は、大障組・府労組連に結集し、これらの実現に向けて引き続き全力で奮闘します。

しかし、府当局の回答は、深刻な職場の実態や私たちの切実な要求とは大きな隔たりがあり、極めて不満な内容です。府労組連は、今季闘争を最終し、交渉での到達点を足がかりに、職場からのとりくみを

さらに、行政職2級3級の最高号給滞留の解消、非正規職員の待遇改善、「教育に穴のあく」事態の解消、教職員の評価・育成システム」の中止、ハラスメント防止のための実効ある対策などの要求も切実です。大障教は、大障組・府労組連に結集し、これらの実現に向けて引き続き全力で奮闘します。

### 今季闘争のおもな到達点と府労組連の要求

(1) 夏期一時金(ボーナス)を6月30日に支給

夏期一時金支給月数は、次の通りです。

職員	2.075月
新規採用職員	0.6225月
再任用職員	1.05月

評価制度の給与反映のための原資として、全教職員の勤勉手当から一律に0.03月(再任用職員0.014月)分が差し引かれます。また、評価結果によって勤勉手当の支給率が変わります。

- (2) 「労働時間の適正化ガイドライン」を踏まえ、適切に対応
- (3) 「教職員の評価・育成システム」について「職員アンケート」を実施
- (4) 府立学校の女性検診を改定

「これまで40歳以上の希望者全員を対象としていた府立学校での乳がん・子宮がん検診の公費負担を2年に1回とし、子宮がん検診の対象年齢を20歳から引き下げ、乳がん検診については、マンモグラフィ検査を公費負担する」との回答が示されました。しかし、知事部局では2005年度よりこうした改善が実施されており、学校現場への適用があまりにも遅れたことは重大です。

さらに、公費負担を2年に1回としたことは、希望者の受診機会を抑制することになりかねません。府労組連は、すべての女性職員が希望すれば、毎年公費負担で受診できるよう制度改正を行うよう求めました。

(5) 事務職員の再任用制度の見直し

事務職員の再任用制度について、「主査級以上の退職者のうち、選考により2級(現行は1級)への配置を検討」等の考え方が示されました。この見直しは、再任用職員に新たな格差を生むものであり、再任用全体の賃金引上げには程遠いものです。

府労組連は、すべての再任用職員に対し、最低でも行政職2級以上を適用し、賃金水準を引き上げるとともに、一時金を含め諸手当拡充等の待遇改善を求め、とりくみを強化します。

大障教ホームページアドレス <http://www.1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



国民の「内心」を処罰の対象にする「共謀罪」法が、夜を徹した与野党の攻防の末、6月15日朝の参院本会議で自民・公明・日本維新の会の賛成多数により可決成立しました。国会前に駆けつけた多くの市民の抗議や国民世論を無視し、数の力に頼った暴挙です。

犯罪の具体的行為があつて初めて処罰されるという刑法の大原則をねじ曲げ、犯罪行為が無くても、2人以上で犯罪を「計画」して「準備行為」を行ったと判断されれば逮捕も「合法」となります。政府は「テロ対策」「一般人は対象外」などと主張して国民を欺こうとしましたが、野党の追及により、広く一般市民も対象となり、捜査権力の乱用をまねく危険も暴露されました。追い詰められた安倍政権は、法務委員会での審議を一方的に打ち切つて、本会議採決に持ち込む「中間報告」という事実上の強行採決に出ました。皮肉にもこの暴挙が、国民の新たな怒りを呼び、共謀罪「法の危うさ」と矛盾を浮き彫りにすることになりました。立憲主義・民主主義・平和主義を日本の政治に取り戻すことが急がれます。

採決の直後、文部科学大臣は、「加計学園」の獣医学部新設に関わる、総理の「意向」などと記載された一連の内部文書は、文科省が作成したことを認めました。国民の批判で追加調査に追い込まれるまで、怪文書だと主張して存在を認めなかった首相の責任が大きく問われます。わが身に降りかかってきた国政私物化の疑惑は封じ込め、やりたいことはどんなに国民が反対しても突っ走る、私たち、バカにされすぎではないか」と全国で怒りが沸騰しています。

# 別ブロック 歓迎のつどい 新転任のつどい

## 第6回 堺泉北泉南ブロック・新転任歓迎のつどい

### 性教育の学習と教材展を開きました

4月30日、堺泉北泉南

ブロック新転任歓迎のつどいを、千住真理子先生をお招きして開催しました。千住先生の性教育のお話と、それぞれの学校で使われた教材・教具を持ち寄った教

材展に若者4人を含め8人が参加しました。

千住先生は、性を受け入れていくことは、子どもたち一人ひとりの人権を大切にしていこうと話されました。「あなた自身が大切」と伝えていくこと、どん

な些細なことでも人権を尊重すること、例えば子ども

のカバンを開ける時にはきちんと伝えることが大事だということ学びました。また千住先生は、性とは恥ずかしいことではなく、ちゃんと向き合うこと、性

について話をきちんとしていくことが大切だと話されました。人は一人ひとりに

性があり、そのことを受けとめ、尊重することは人権を大切にすることと同じことだと学びました。

講演後の参加者交流では、「自分自身子どもの頃に十分な性教育を受けたことがなく、教員になってから何となく学んだ」という声が多く出されました。性について話をすると親や大人に

「ダメなこと」と刷り込まれてきたため、教員になった今も子どもたちと性のことを話すとなると、何を話していいかわからないという悩みも出されました。

教材展示されていたものの一部をご紹介します。木の

の香りがして手触りもいいロッキングチェアや、絵本をアレンジしたパネルシアター、チャイムを鳴らせば動物が出てくるお家、手作り脱穀機、トイレトペーパー粘土で作った美味しそうなパンなど、どれも素敵な教材が並びました。「いいアイデアを頂きました!」「他校の教材を見る機会がないので、とてもよかったです」など大変好評でした。

とても充実した内容のつどいとなりましたが、今後は誘いかける時期や集まりやすい日程を考えることが課題です。次回もより良いものを考えていくので、どんどん参加してください

ね!(泉南支援学校分会 川淵萌由)

## 大障教定期大会発言ダイジェスト(その3) 視覚障害者の進路を保障するたたかい

北視覚支援学校分会 藤本代議員



卒業後の進路を保障するたたかいに関して、2点発言します。

一点目は、マッサージの診療報酬引き上げのとりくみへの支援です。卒業生が勤める病院におけるマッサージの診療報酬は35点350円と不当に低く、しかも30年以上前から据え置かれています。こうした中、この20数年間で視覚障害のあるマッサージ師は

3分の1に激減しています。厚生労働省に対して診療報酬を引き上げる請願署名にとりくむことで、その引き下げを押しとどめている実績があります。

二点目は、視覚障害者の職業自立を妨げる、晴眼者(視覚障害の無い人)の養成学校のある摩科設置阻止の運動への協力をお願いします。

ある晴眼者の養成学校がある摩科の新設を国に申請しましたが、国はそれを認定しませんでした。これに對

して養成学校側は国を相手とって裁判を起しました。あはき法(あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律)19条には、視覚障害者の生活が安定するまでは、あんまマッサージ指圧に係る一般の養成学校の要請は国がこれを認めないことができると書かれています。この条文があることよって、晴眼者の養成学校はその新設・増設を抑制されています。

ある会社の社長は競争入札で落札しても利益は出さず、随意契約のバスがあるから「何とか食っていける」ということで、「もう限界。府にも訴えてほしい」とおっしゃっていました。安全で安心なスクールバス運行を保障していくためにも早急な対策が必要だと考えています。

## 看護師の待遇改善、スクールバス委託業務の見直しを

箕面支援学校分会 藤嶋代議員



箕面支援学校は児童生徒のおよそ3分の1が医療的ケアを必要とする子どもたちで、その医療的ケアも多様化・複雑化しており、看護師は総勢12人、1日9人体制で安全・安心を守っています。しかしその勤務は

大変で、ある臨時技師(看護師)の方は「働き盛りの世代が安心して勤務できる雇用条件ではない」「府教委はもっと真剣に受け止めてもらいたい」と訴えています。

学校看護師を他の非常勤職員と同じ扱いにせず、看護師という専門職としての業務に値する賃金体系を

適用すべきです。そして一刻も早く「正規職員」として採用し、安心して学校看護師というやりがいのある仕事につくことができるように条件整備することを強く要望します。

スクールバスの運行業務民間委託についても、同様の事態が起こりつつありま

ます。ある会社の社長は競争入札で落札しても利益は出さず、随意契約のバスがあるから「何とか食っていける」ということで、「もう限界。府にも訴えてほしい」とおっしゃっていました。安全で安心なスクールバス運行を保障していくためにも早急な対策が必要だと考えています。

ます。しかしその勤務は

大変で、ある臨時技師(看護師)の方は「働き盛りの世代が安心して勤務できる雇用条件ではない」「府教委はもっと真剣に受け止めてもらいたい」と訴えています。

学校看護師を他の非常勤職員と同じ扱いにせず、看護師という専門職としての業務に値する賃金体系を

適用すべきです。そして一刻も早く「正規職員」として採用し、安心して学校看護師というやりがいのある仕事につくことができるように条件整備することを強く要望します。

スクールバスの運行業務民間委託についても、同様の事態が起こりつつありま

ます。ある会社の社長は競争入札で落札しても利益は出さず、随意契約のバスがあるから「何とか食っていける」ということで、「もう限界。府にも訴えてほしい」とおっしゃっていました。安全で安心なスクールバス運行を保障していくためにも早急な対策が必要だと考えています。

【参加者の感想です!】  
これからは性は隠すのではなく、きちんと伝えていくことが必要で、そのために私たち自身もちゃんと学んでいかなければならないことがわかりました。  
千住先生が持ってきてくださった教材に性器のエプロンシアターがあり、とても分かりやすく、親しみやすいものでした。